
平成27年3月期
第2四半期決算説明会

平成26年11月7日

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>

目次

I**平成27年3月期 上期実績****II****主要施策の状況****III****平成27年3月期 通期見通し**

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

I . 平成27年3月期 上期実績

平成27年3月期上期決算について

平成26年3月期からの変動要因

- ✓ 組込み分野の拡大を目的に、横河デジタルコンピュータとアートシステムの2社を新規連結
- ✓ DTS America Corporationを新規連結
- ✓ 単体に連結子会社のFAITECを吸収合併
- ✓ 単体から関西支社・中京支社の情報サービス事業を分社化し、DTS WESTを設立

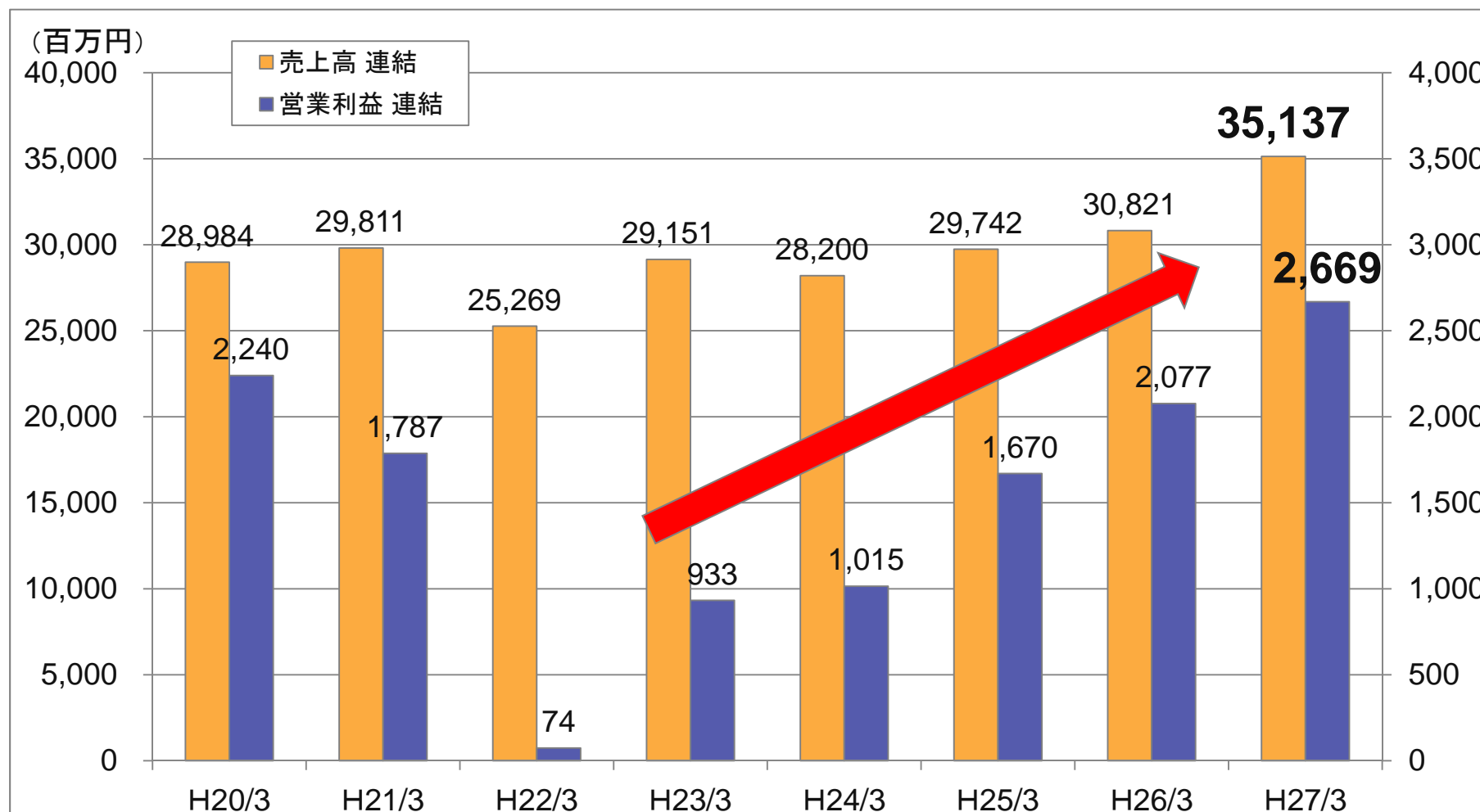
平成27年3月期上期 連結・業績実績

売上高は前年同期比14.0%増、営業利益は同28.5%増と大幅な増収増益を達成

(単位：百万円、%)	金額	売上比	前年同期比		計画比(8/4)	
売上高	35,137	—	114.0%	+4,316	102.1%	+737
売上総利益	6,029	17.2%	121.9%	+1,084	104.9%	+279
販管費	3,359	9.6%	117.2%	+493	96.0%	△140
営業利益	2,669	7.6%	128.5%	+591	118.7%	+419
経常利益	2,716	7.7%	128.6%	+604	118.1%	+416
四半期純利益	1,501	4.3%	133.7%	+378	111.2%	+151

上期売上高・営業利益推移

上期連結売上高、営業利益は、過去最高を更新



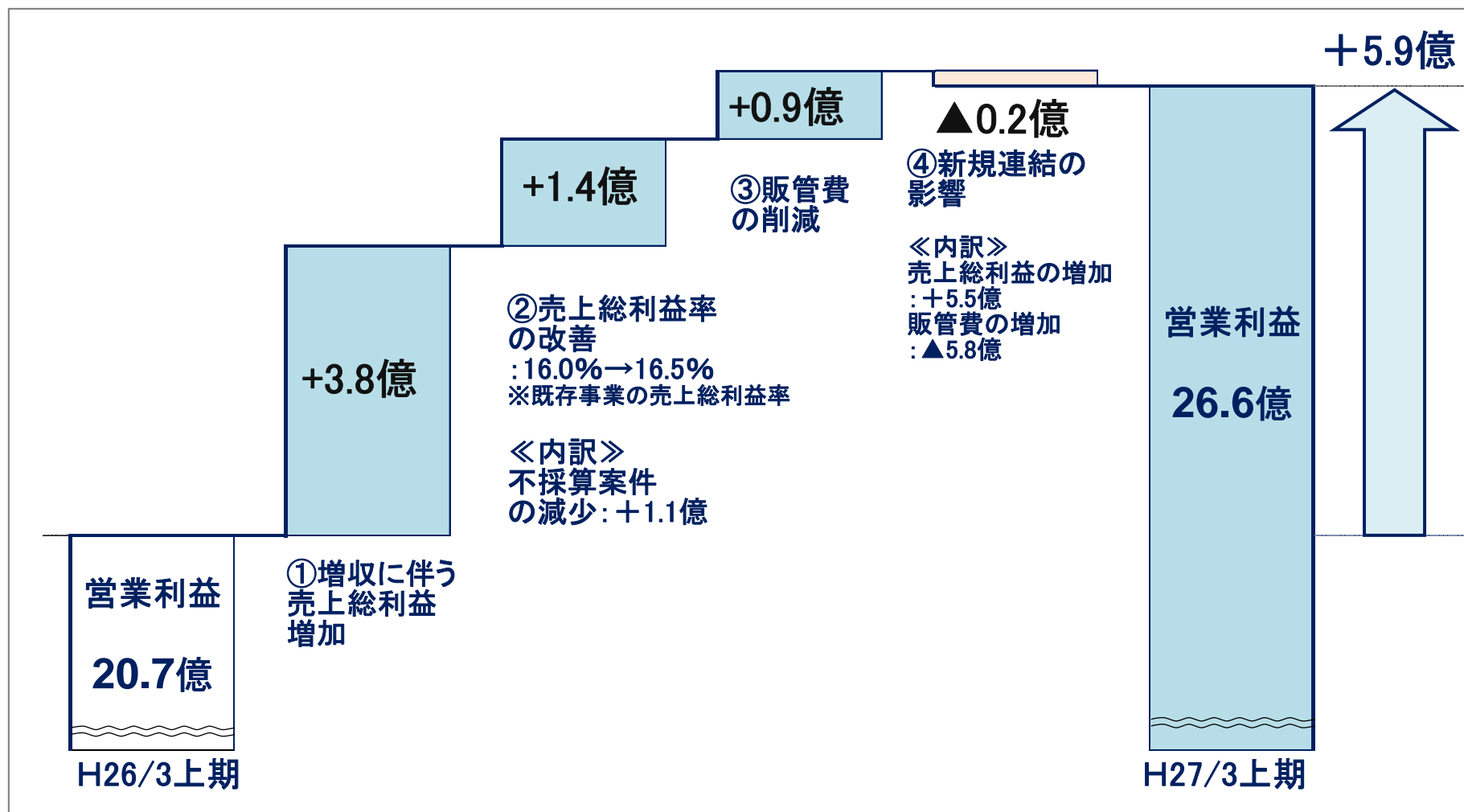
連結・セグメント別売上高

売上高の増加は、金融や公共分野の開発案件が好調に推移したことに加え、新規連結などにより、システムが増加したことが主因

(単位：百万円、%)	金額	売上比	前年同期比		主な増減要因
売上高	35,137	—	114.0%	+4,316	
システム	22,914	65.2%	120.2%	+3,849	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行、証券等の開発拡大 ・公共分野で新規案件獲得 ・新規連結
オペレーション	6,482	18.4%	98.9%	△74	
プロダクト その他	3,882	11.0%	129.4%	+881	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド事業者向け機器販売が増加 ・WindowsOS更改特需
情報サービス	33,279	94.7%	116.3%	+4,657	
人材サービス	1,858	5.3%	84.5%	△341	

連結・営業利益増加の要因

売上高の増加や不採算案件の減少等により、売上総利益が増加したことに加え、販管費の削減もあり、営業利益が増加



連結・受注

システムの受注高、受注残高が増加。銀行大型案件、運輸、公共の開発案件の増加に加え、新規連結が寄与

単位(百万円、%)	受注高				受注残高			
	金額	構成比	前年同期比		金額	構成比	前年同期比	
合計	32,287	—	116.3%	+4,534	19,391	—	112.6%	+2,175
システム	24,398	75.6%	130.7%	+5,726	13,227	68.2%	120.7%	+2,270
オペレーション	2,532	7.8%	71.1%	△1,030	4,667	24.1%	95.8%	△202
プロダクト その他	4,087	12.7%	123.5%	+776	416	2.1%	119.7%	+68
情報サービス	31,018	96.1%	121.4%	+5,473	18,312	94.4%	113.2%	+2,137
人材サービス	1,269	3.9%	57.5%	△938	1,079	5.6%	103.6%	+37

平成27年3月期上期 単体・業績実績

売上高は前年同期比22.6%増、営業利益は同40.2%増と
 増収増益を達成

(単位：百万円、%)	金額	売上比	前年同期比		計画比(8/4)	
売上高	22,884	—	122.6%	+4,221	103.1%	+684
売上総利益	4,090	17.9%	124.0%	+791	106.3%	+240
販管費	1,747	7.6%	107.4%	+120	92.0%	△152
営業利益	2,343	10.2%	140.2%	+671	120.2%	+393
経常利益	2,422	10.6%	133.6%	+609	118.2%	+372
四半期純利益	2,799	12.2%	249.0%	+1,675	109.8%	+249

単体・セグメント別売上高

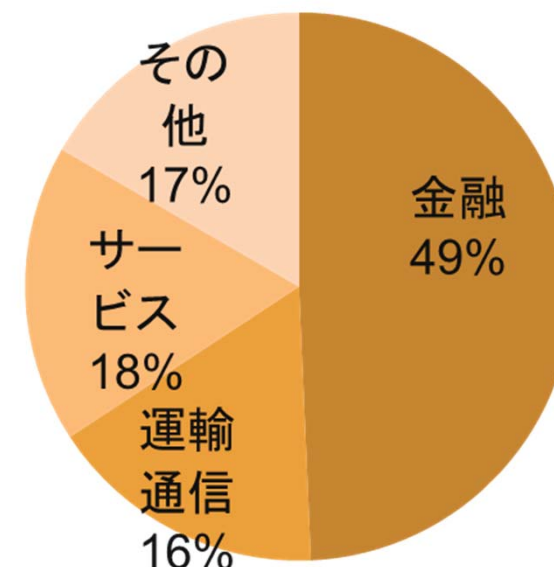
金融や公共分野の開発案件が好調に推移したことに加え、
 連結子会社の吸収合併により、システムが大幅に増加

(単位：百万円、%)	金額	売上比	前年同期比		主な増減要因
売上高	22,884	—	122.6%	+4,221	
システム	17,069	74.6%	132.1%	+4,147	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行、証券等の開発拡大 ・公共分野で新規案件獲得 ・FAITEC吸収合併
オペレーション	5,275	23.1%	99.2%	△42	
プロダクト その他	539	2.4%	127.6%	+116	・WindowsOS更改特需
情報サービス	22,884	100.0%	122.6%	+4,221	
人材サービス	—	—	—	—	

単体・エンドユーザ業種別売上高

金融業は銀行大型案件の拡大や連結子会社の吸収合併により増加。運輸・通信業の減少があるも、製造業や公共は増加

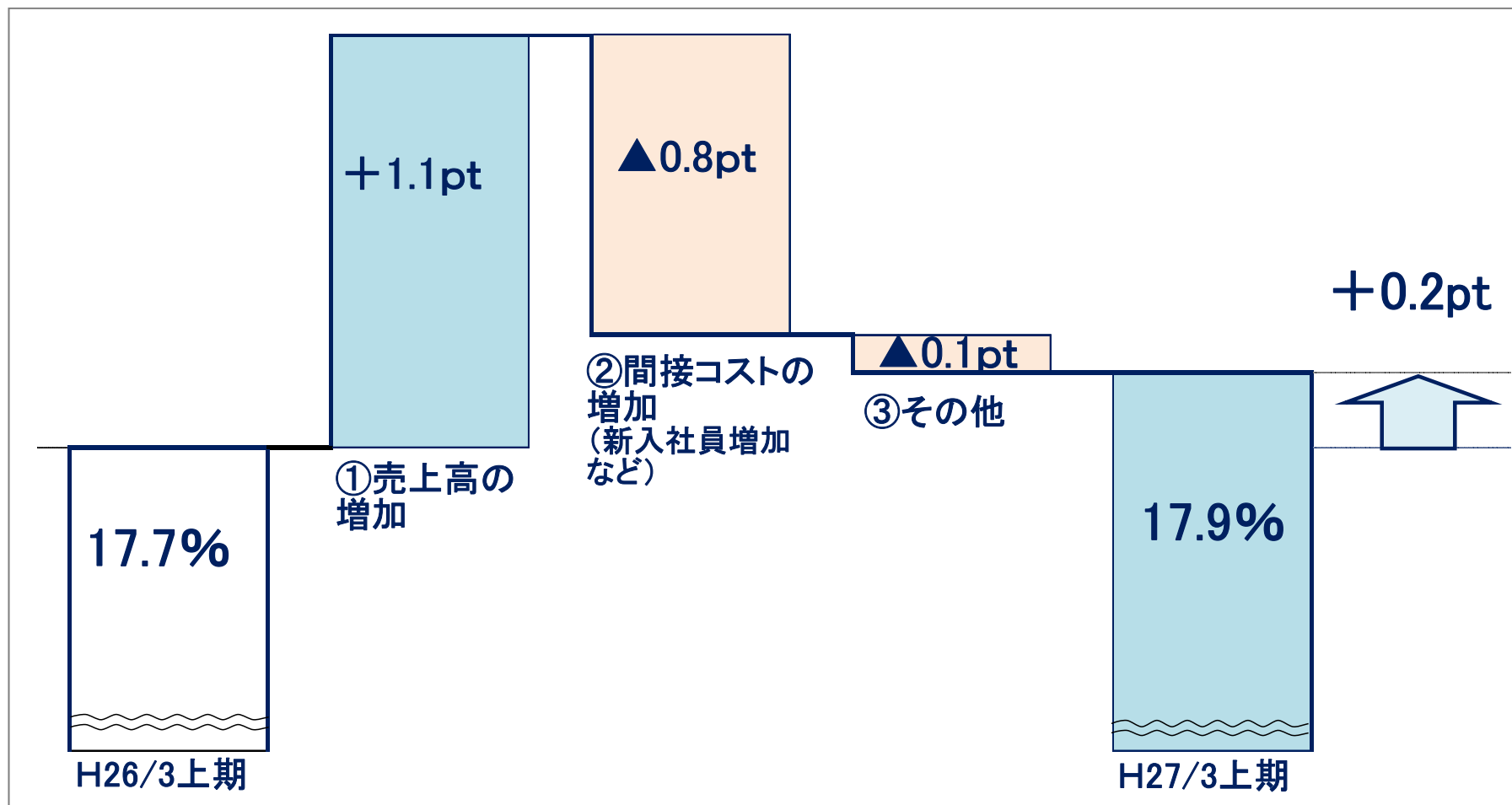
(単位:百万円、%)	金額	構成比	前年同期比	
金融	11,016	49.3%	153.5%	+3,839
運輸・通信	3,676	16.5%	94.5%	△214
サービス	3,927	17.6%	98.2%	△73
その他	3,723	16.7%	117.4%	+553
うち製造	1,544	6.9%	113.6%	+185
うち公共	906	4.1%	169.9%	+372
うち卸小売	602	2.7%	95.1%	△30
システム+オペレーション	22,344	100.0%	122.5%	+4,104



- 金融業 : 銀行の大規模システム統合などの需要が拡大。証券の開発案件も好調に推移
- 運輸・通信業 : 通信は主要顧客の投資抑制により縮小するが、運輸は更改需要により増加
- サービス業 : 前年同期の反動減があるも、情報サービス向け開発案件が増加し横ばい
- その他 : 公共は、年金一元化や地方自治体のシステム更改などの新規案件を獲得し増加

単体・売上総利益率

新入社員の増加などにより間接コストが増加するも、売上高の増加により売上総利益率は0.2pt改善



グループ会社・業績実績

(単位：百万円、%)	売上高			営業利益				
	社名	金額	前年同期比	計画比	金額	売上比	前年同期比	計画比
	データリンクス	3,829	95.8%	98.5%	123	3.2%	78.6%	104.1%
	デジタルテクノロジー	3,829	108.6%	99.0%	58	1.5%	105.9%	103.3%
	日本SE	2,094	103.6%	94.3%	47	2.2%	63.4%	48.1%
	横河デジタルコンピュータ*	1,491	-	99.1%	28	1.9%	-	1027.9%
	総合システムサービス	695	117.3%	110.7%	91	13.1%	184.9%	217.5%
	九州DTS	563	111.2%	105.5%	21	3.9%	129.1%	134.1%
	DTS WEST*	563	-	99.2%	30	5.4%	-	82.2%
	アートシステム*	391	-	113.8%	0	0.1%	-	[+37]
	MIRUCA	250	124.1%	114.9%	53	21.3%	330.5%	328.4%
	DTS上海	125	98.1%	92.0%	17	13.6%	[+39]	395.0%
	DTSアメリカ*	56	-	103.8%	7	13.5%	-	[+9]

※各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません

※[]は、当期金額－前期金額です

※*は、平成27年3月期から連結

Ⅱ. 主要施策の状況

主要施策

①提案力の強化

- ・営業体制の強化
- ・グループ連携による営業力の強化

②事業基盤の強化とビジネスモデルの変革

- ・金融・通信に続く、第三の柱の創出
- ・グローバルビジネス基盤の確立
- ・新規企画型ビジネスの創出
- ・プロジェクトの確実な利益確保

③グループ経営基盤の拡充

- ・高付加価値人材の育成
- ・グループ再編による経営最適化

①提案力の強化

来期以降の自律的成長の為に営業強化は最重要課題。営業人材の育成・確保を推進し、顧客との関係強化を図る

■営業体制の強化

- 『提案力の強化』の為、営業ロールモデル人材の育成と確保を推進。研修教育と営業活動による実践の両輪で、営業人材の質・量ともに強化
- 顧客満足度調査の拡充に伴い、収集できる顧客情報が充実。現場へのフィードバックを強化し、更なる顧客満足度向上を目指す

■グループ連携による営業力の強化

- 新規連結2社との情報連携により、顧客情報・営業情報の共有を促進。新たな市場の開拓に取り組む

②事業基盤の強化とビジネスモデルの変革

グローバル強化の一環として、4月にDTS ベトナムを設立。「組み込み」に続く主力事業創出に向けた施策を推進する

第三の柱の創出

- ・組み込み分野において2社を新規連結。売上50億円、技術者400人体制確立
- ・各社の技術、ノウハウを共有し、「医療」「車載」を中心に事業拡大を目指す

グローバルビジネス基盤の確立

- ・4月にベトナムにオフショア・BPO拠点となる現地法人を設立
- ・システム開発体制を強化するとともに、東南アジアにおける現地ビジネス開拓を推進

プロジェクトの確実な利益確保

- ・プロジェクト管理強化への取組みを着実に推進。今後、増加が見込まれる大規模案件の確実な利益確保を目指す
- ・グループSI力向上の為、各社の実態に応じたマネジメント力向上施策を推進

新規企画型ビジネスの創出

- ・5月に畜産分野のソリューション「Dr.Cowbell」を事業化
- ・医療やビッグデータ、ソーシャルネットワークの分野においても、実用化に向けた取り組みを推進

③グループ経営基盤の拡充

50期売上1,000億達成の為の礎として、高付加価値人材の育成、グループ最適化に向けた施策を継続して推進する

■高付加価値人材の育成

- 高度技術者、営業ロールモデル人材、グローバル人材育成研修を継続的に実施

■グループ再編による経営最適化

- グループ各社の営業利益率向上に向けた構造改革を推進
- 平成27年4月に、関西を拠点とする「DTS WEST」と「総合システムサービス」の合併を予定。西日本地域における事業拡大を目指す








×



株式会社
総合システムサービス

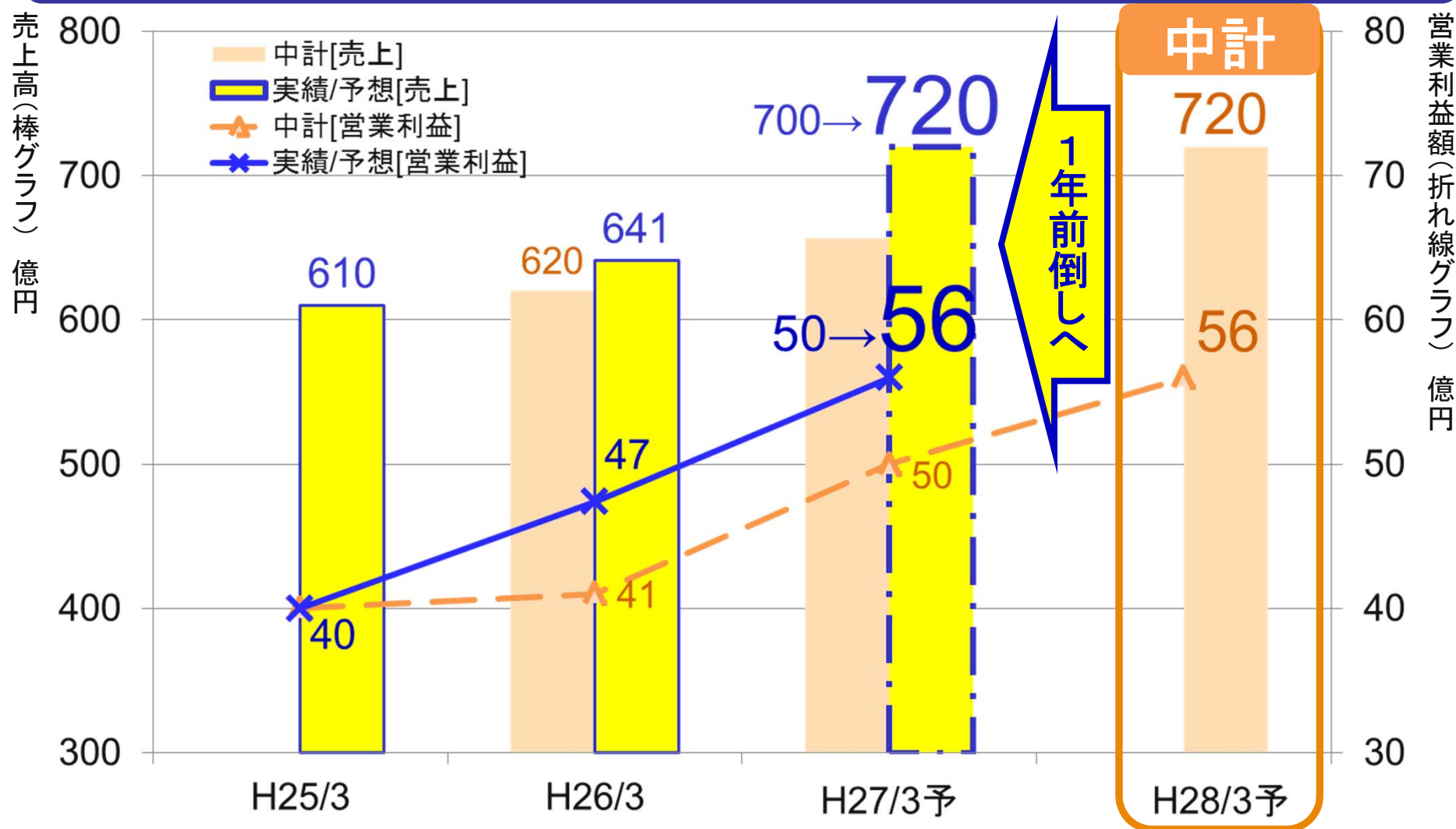
Ⅲ. 平成27年3月期 通期見通し

当社事業環境の見通し

業種	IT投資の見通し	
金融	銀行は、一部顧客で投資の端境期を迎えるものの、大規模システム統合などにより需要拡大 信託は、統合特需のピークアウトにより減少。生損保は、堅調に推移 証券は、顧客の業績改善により需要増を想定	
運輸・通信	通信は、主要キャリアの投資抑制傾向が続く	
	運輸は、空運で引き続き基幹システムの更改需要が見込まれる	
サービス	企業業績の改善に伴い、幅広い顧客において需要拡大を見込む	
その他	公共は、年金一元化やマイナンバーなどにおいて、引き続き需要増 製造は、組込み事業において、車載、医療等の需要拡大を見込む 卸小売は、ビッグデータ等を使った新サービスに向けた投資に期待	

中期経営計画と平成27年3月期業績予想

通期業績予想を売上高720億、営業利益56億に修正。
中期経営計画を1年前倒しで達成へ



平成27年3月期 通期業績予想

(単位：百万円、%)	連結				単体			
	金額	売上比	前年同期比		金額	売上比	前年同期比	
売上高	72,000	—	112.2%	+7,825	48,000	—	119.8%	+7,928
売上総利益	12,600	17.5%	118.6%	+1,973	8,550	17.8%	120.8%	+1,473
販管費	7,000	9.7%	118.9%	+1,114	3,800	7.9%	110.8%	+369
営業利益	5,600	7.8%	118.1%	+858	4,750	9.9%	130.3%	+1,103
経常利益	5,650	7.8%	117.5%	+839	4,850	10.1%	126.6%	+1,019
当期純利益	3,200	4.4%	120.6%	+546	4,200	8.8%	182.3%	+1,896

参考)平成27年3月期 グループ会社・通期計画

(単位:百万円、%)	売上高		営業利益		
	金額	前年同期比	金額	売上比	前年同期比
データリンクス	7,855	100.0%	260	3.3%	95.3%
デジタルテクノロジー	6,837	104.9%	106	1.6%	158.9%
日本SE	4,675	107.5%	310	6.6%	110.3%
横河デジタルコンピュータ*	3,277	—	107	3.3%	—
総合システムサービス	1,350	110.8%	142	10.5%	142.8%
九州DTS	1,300	120.0%	65	5.0%	129.0%
DTS WEST*	1,250	—	105	8.4%	—
アートシステム*	910	—	64	7.1%	—
MIRUCA	417	117.3%	46	11.1%	204.4%
DTS上海	342	107.0%	49	14.4%	[+52]
DTSアメリカ*	157	—	28	18.3%	—

※各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

※[]は、当期金額－前期金額です。

※*は、平成27年3月期から連結

配当

期末配当は、期初予想から5円増配し25円へ。
 通期では、一株当たり40円、配当性向29.4%を見込む

	第2四半期末	期末	年間	配当性向 (連結)
平成26年3月期	15円	20円	35円	31.4%
平成27年3月期	15円	(予)25円 (期初予想20円)	(予)40円 (期初予想35円)	(予)29.4%

平成27年3月期
第2四半期決算説明会

ご清聴ありがとうございました

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>